

放射能関係のお知らせ

2017年1月3回(C週)
お届け日:2017/1/16～1/20
発行日:2016/12/26



本誌は、カタログ掲載の青果について、2016/12/22(木)午前中までの放射能自主検査の結果をお伝えしています。

●青果 放射能が検出されていない産地(セシウム 134,137 それぞれ 3Bq/kg 以下)

分類	品目名	放射能検査の状況	
果 実	いちご	品目で検査済	たまつくり・とちのみ・はが野・うつのみや・遠州
		検査予定	佐原・海上
	キウイ	品目で検査済	小田原・やはた会・久望
	みかん	品目で検査済	小田原・久望
	りんご	品目で検査済	八峰園・ゴールド農園・雄勝・天童・米沢郷・さみず・青木・サンファーム
果 菜	きゅうり	品目で検査済	茨城・村悟空・佐原・サンド旭・和郷
		検査予定	新ひたち野
	スナップえんどう	品目で検査済	南伊豆
	トマト	品目で検査済	うつのみや・野菜くらぶ
		果菜類で検査済	茨城・元気会・沃土・村悟空・佐原
	ミニトマト	品目で検査済	茨城・あゆみの会・元気会・サンド旭
果菜類で検査済		野菜くらぶ・沃土・村悟空・和郷	
葉 菜	大葉	品目で査済	和郷
	キャベツ	品目で検査済	たまつくり・海上・三浦E M・遠州
		葉菜類で検査済	あいづ・谷田部・茨城・野菜くらぶ・沃土・埼玉産直・村悟空・佐原・和郷・南伊豆
	小松菜	品目で検査済	谷田部・茨城・有機農法ギルド・野菜くらぶ・群馬モグラ会・沃土・南埼玉・佐原・八街・風土の会
		葉菜類で検査済	たまつくり・やさと・和郷
	サニーレタス	葉菜類で検査済	谷田部・茨城・常総産直・野菜くらぶ・沃土・海上・八街・和郷・風土の会
	春菊	品目で検査済	夢みなみ
		葉菜類で検査済	たまつくり・レインボー・あゆみの会・うつのみや・沃土・村悟空・佐原・サンド旭・和郷
	セロリ	品目で検査済	とびあ浜松
	せり	検査予定	こまち
	ターサイ	葉菜類で検査済	谷田部・有機農法ギルド・たまつくり・風土の会・遠州
	チンゲン菜	葉菜類で検査済	あゆみの会・沃土・和郷・遠州
		検査予定	こまち
	菜の花	葉菜類で検査済	南伊豆
		検査予定	小田原
	にら	品目で検査済	元気会
		葉菜類で検査済	茨城・野菜くらぶ
	ねぎ	品目で検査済	常総・南埼玉
		葉菜類で検査済	谷田部・茨城・たまつくり・利根川・沃土・村悟空・佐原・八街
	白菜	葉菜類で検査済	谷田部・茨城・常総産直・八街
	ブロッコリー	品目で検査済	谷田部・茨城・野菜くらぶ・沃土・南埼玉・村悟空・海上・佐原・サンド旭・和郷
	ヘビリーフ	品目で検査済	フェニクス・レインボー
	ほうれん草	品目で検査済	新しいわて・草の会
		葉菜類で検査済	谷田部・茨城・有機農法ギルド・たまつくり・常総産直・やさと・うつのみや・利根川・野菜くらぶ・沃土・佐原・八街・和郷・風土の会
	みず菜	品目で検査済	ふきのとう
		葉菜類で検査済	谷田部・茨城・佐原
ルッコラ	葉菜類で検査済	茨城・沃土・南埼玉・和郷	

分類	品目名	放射能検査の状況		
葉菜	レタス	品目で検査済	野菜くらぶ	
		葉菜類で検査済	茨城・沃土・海上・佐原・サンド旭	
	若芽ひじき	品目で検査済	寺島	
	かぶ	品目で検査済	谷田部・たまつくり・佐原	
		根菜類で検査済	茨城・沃土・海上・和郷	
	ごぼう	品目で検査済	茨城・清瀬	
		根菜類で検査済	常総・谷田部・たまつくり・やさと・佐原・和郷	
	さつまいも	品目で検査済	谷田部・佐原	
		根菜類で検査済	常総・茨城・たまつくり・和郷・有機農法ギルド	
	里芋	品目で検査済	茨城・あゆみの会・佐原	
		根菜類で検査済	常総・谷田部・有機農法ギルド・たまつくり・八街・風土の会	
	しょうが	根菜類で検査済	村悟空・和郷	
	根菜	大根	品目で検査済	有機農法ギルド・沃土・海上・佐原・和郷
			根菜類で検査済	谷田部・茨城・たまつくり・村悟空・八街・風土の会
			検査予定	三浦EM
長芋		根菜類で検査済	茨城	
人参		品目で検査済	常総・あゆみの会・和郷・清瀬	
		根菜類で検査済	谷田部・茨城・有機農法ギルド・たまつくり・常総産直・やさと・沃土・村悟空・海上・佐原・八街・農法の会・風土の会	
にんにく		品目で検査済	八峰園・田子	
ほしいも		品目で検査済	常陸	
れんこん		品目で検査済	常総・有機農法ギルド・たまつくり・新ひたち野・あゆみの会・佐原	

●2016 年産米の検査

検査対象の産直産地のお米の検査を玄米で行い、検査は全産地終了しました。
2016 年産の下記の産地・銘柄は、すべて不検出です。

青森県:JA津軽みらいの青森つがるロマン
岩手県:JAいわて花巻の岩手ひとめぼれ、JA新しいわての岩手いわてっこ
宮城県:JAみどりのの宮城ひとめぼれ
秋田県:JAこまちの秋田あきたこまち・オーリア 21 の秋田あきたこまち・花咲農園の秋田あきたこまち・JA秋田ふるさとの秋田あきたこまち、JAかづのの秋田淡雪こまち
山形県:JA庄内たがわの山形はえぬき、JA山形おきたまの山形ササニシキ、庄内協同ファームの山形つや姫
福島県:JA会津よつばの会津こしひかり
新潟県:JA 北蒲みなみの新潟こしひかり・JA ささかみの新潟こしいぶき・JAにいがた南蒲の新潟こしひかり・JA 魚沼みなみの魚沼こしひかり・JA えちご上越の新潟こしひかり・謙信の郷の新潟こしひかり・JA 佐渡の佐渡こしひかり
茨城県:JAつくば市谷田部の茨城こしひかり
栃木県:日本の稲作を守る会の栃木こしひかり(19 検体中 17 検体不検出 2 検体は白米で検査を行い不検出)
千葉県:JA君津市の千葉ふさおとめ・ちば緑耕舎の千葉こしひかり
埼玉県:南埼玉産直ネットワークの彩のかがやき
長野県:JA佐久浅間の長野こしひかり

放射能は玄米のぬかにたまる傾向があります。玄米で検査後、供給は白米および玄米で行います。

●きのこ類

放射能が検出されていない産地(3Bq/kg 以下)

品目名	放射能検査の状況	
えのき茸	品目で検査済	飯山
エリンギ	品目で検査済	小川きのご・南伊豆・渡辺きのご
なめこ	品目で検査済	谷田部
まいたけ	品目で検査済	雪国
谷田部の若手生産者きのこセット	品目で検査済	谷田部 *しいたけ・しめじから放射能が検出されました

●青果以外の牛肉・卵・食肉類および加工品の対象商品はすべて検査をしています。

* 酒類はみりんと料理酒を検査対象としています。

●検出された商品

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
生しいたけ(原木栽培)	谷田部	2016/12/14	11
徳用生しいたけ(原木栽培)			
お料理セットの生しいたけ			
谷田部の若手生産者きのこセットのしいたけ			
谷田部の原木しいたけ(はねだし)			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

*2016/12/21 の生しいたけは、不検出でした。2017/1/4 は検査は実施されませんでした。

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
しめじ(ひらたけ)	谷田部	2016/12/14	3.0
谷田部の若手生産者きのこセットのしめじ			
ぶなしめじ	谷田部	2016/12/14	3.1
パルシステムの独自ガイドライン			
政府の基準値			100

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
コアフード栃木こしひかり(玄米)	日本の稲作を守る会	2016/10/21	3.9
パルシステムの独自ガイドライン			10
政府の基準値			100

* 白米では不検出でした

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
コトコト 272 きなり 310 きなりセレクト 341070	豚のチンジャオロース セットのしいたけ	2016/12/5	6.3
コトコト 279 きなり 312 きなりセレクト 341096	手間いらずの簡単！ 寄せ鍋セットのしいたけ		
パルシステムの独自ガイドライン			
政府の基準値			100

●青果の検査分類表

大分類	中分類	代表的な品目名
果実(くだもの)	—	みかん、りんご、いちごなど
果菜	果菜	きゅうり、トマト、なす、オクラなど
	未成熟豆類	枝豆、いんげん、スナップえんどうなど
葉菜	結球性・非結球性葉菜	アスパラ、キャベツ、白菜、ほうれん草、小松菜、ねぎなど
	花蕾・茎菜	ブロッコリーなど
根菜・いも類	根菜	玉ねぎ、人参、しょうがなど
	いも類	さつまいも、里芋など

●青果の検査について

* 北海道を除く東日本(新潟県・長野県・静岡県以東の本州 17 都県)のカタログ掲載産地において、分類ごとに一品目以上検査をしています。報告の時点で検査が間に合わない品目については、供給前までには放射能検査を実施します。
* 旬のある果物などの検査は、シーズンでの収穫の時期のみになりますが、それ以外はおおよそ半年に1回以上の頻度で検査を行なっています。検査の日付は省略しています。
* 検査対象外地域でも放射能検査を実施している場合がありますが、掲載は省略しています。
* yumyum 果物セットにセットされている果物は、検出下限値 1Bq/kg で検査を行っています

放射能基礎知識

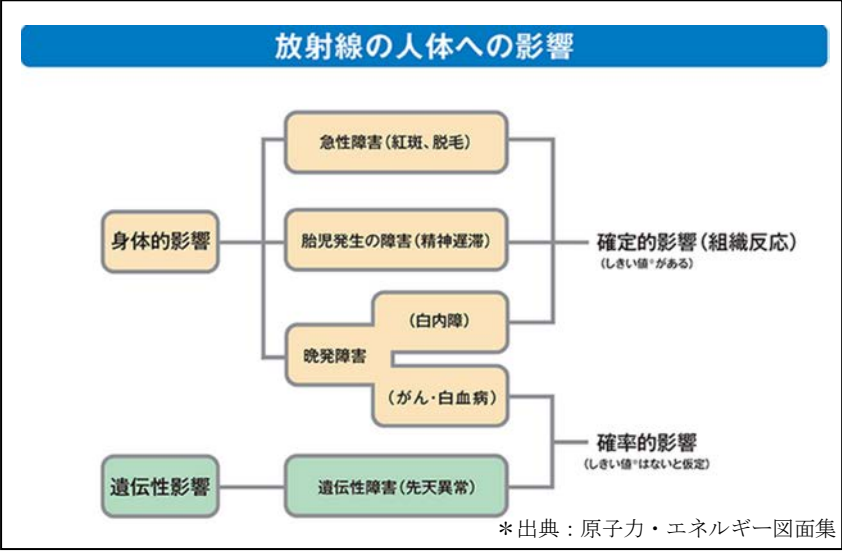
忘れがちな、放射能の基礎知識を数回にわたり、お知らせいたします。

被ばくとは その6

放射能は、もともと放射線をだせる能力のことをさしますが、広義には放射性物質も含みます。

- 放射線障害

放射線の人体への障害は、「確定的影響」と「確率的影響」とがあります。



確定的影響とは、「一定量の放射線を受けると、必ず影響が現れる」現象をいいます。また、受けた放射線の量が多くなるほど、その影響度(障害)も大きくなります。確定的影響は数多くの細胞が放射線によって傷ついたときに生じ、毛が抜けたり、白内障になったりという障害が発生します。主に、急性の高線量の被ばくの際に問題になります。

しきい線量は、器官や組織によって異なりますが、一回被ばくで多くは 1Gy 程度とされています。＊グレイ(Gy)：人体が放射線を吸収する吸収線量(グレイ)

シーベルト(Sv)：人体に影響及ぼす実効線量(シーベルト)

しきい値：放射線被ばくにより、影響がでる最低の線量。

確率的影響とは、一定量の放射線を受けたとしても、必ずしも影響が現れるわけではなく、「放射線を受ける量が多くなるほど影響が現れる確率が高まる」現象をいいます。しきい値がないと仮定する影響です。ガンや白血病は確率的影響です。しかし、放射線の量が多くなったからといって、症状が重くなるわけではありません。

原発事故以降の長い時間たってから現れるであろう障害は、確率的影響となります。このように後々現れる影響を晩発性障害といいます。低線量被ばくは知見があまりなく、しきい値がないという仮説も賛否両論の状態です。

- どう影響するのか？

放射線が影響するのは、DNA遺伝子ばかりではありません。放射線が体内に入ることによって、「フリーラジカル(活性酸素の一部)」が発生します。このフリーラジカルは、細胞を傷つけます。通常、フリーラジカルは、体内の抗酸化物質により消去されますが、フリーラジカルの発生量により影響度が変わります。

被ばくは、個体差が大きく異なります。年齢、男女差、遺伝的素因、生活習慣など、個人により放射線被ばくの許容量はさまざまです。そのため、パルシステムでは予防原則に則り LNT(しきい値なし直線)仮説の立場で検査を継続してまいります。

行政検査の検出情報

- 厚生労働省発表「食品中の放射性物質の検査結果について(第 1011)」(2016/10/1～12/9 で採取・購入された検体検査)より国の定めた基準値セシウム合計 100Bq/kg 以上検出された検体は以下の通りです。

イノシシ肉: 栃木県那珂川町 100・110・130・140・150・160Bq/kg

国の定めた基準値セシウム合計 100Bq/kg 未満で検出された検体の上位数点です。

原木シイタケ: 茨城県つくば市・かすみがうら市ほか 2.6～47Bq/kg
ナメコ: 栃木県栃木市 27Bq/kg
アメリカナマズ: 茨城県霞ヶ浦(西浦・北浦) 33～64Bq/kg
牛肉: 宮城県登米市・栃木県那須塩原市ほか 11～27Bq/kg
イノシシ肉: 栃木県那珂川町・益子町ほか 7.9～96Bq/kg
乾シイタケ: 静岡県伊豆市 11～42Bq/kg

- 福島県の緊急調査で国の定めた基準セシウム合計 100Bq/kg 未満で検出された検体の上位数点です。

大豆: 福島県白河市・福島市ほか 3.6～30Bq/kg
ナメコ: 福島県会津美里町・福島市ほか 4.5～24Bq/kg
原木シイタケ: 福島県下郷町 20Bq/kg
シロメバル(海の魚): 福島県富岡町・広野町 30・35Bq/kg
イワナ: 福島県須賀川市(阿武隈川水系)ほか 29Bq/kg

11月～12月の放射能検査状況

12月は、16日までで、しいたけからは原木生しいたけから1件(11Bq/kg)、お料理セットのしいたけから2件(5、6、3Bq/kg)の検出がありました。その他のきのこ類から、しめじ(ひらたけ)から1件(3、0Bq/kg)、ぶなしめじから1件(3、1Bq/kg)の検出がありました。

乳幼児用食品は、検出下限値を4月から1Bq/kg に下げましたが、現在まですべて不検出です。

検出された商品は、すべて自主基準以内の検出でした。

放射能検査の状況(検査件数、かつこ内は検出数、網がけは検出された分類)

	11月	12月		11月	12月
青果	58 (0)	26 (0)	卵	0 (0)	0 (0)
しいたけ	6 (4)	9 (3)	魚介類	34 (0)	16 (0)
他のきのこ類	9 (0)	18 (0)	飲料水・飲料	12 (0)	10 (0)
米・米飯類	2 (0)	0 (0)	乳幼児用食品	55 (0)	28 (0)
牛乳・乳製品	15 (0)	3 (0)	その他加工食品	245 (1)	103 (0)
肉類	0 (0)	0 (0)	合計	436 (5)	213 (5)

2016年度の放射能検査の状況(2016 年 4 月～12 月)

青果	2016 年 5 月に小田原のバレンシアオレンジの 3 件中 1 件から 3.2Bq/kg が検出されました。2016 年 1 月に小田原の伊予柑から 5.3Bq/kg、2016 年 2 月に小田原のはっさくから 4.8Bq/kg が検出されました。
しいたけ、他のきのこ	生しいたけが(3、1～12Bq/kg)、しめじ(ひらたけ)が(3、0～3、5Bq/kg)、ぶなしめじが(3、1Bq/kg)で、放射能が自主基準内で検出されました。他のきのこ類は放射能不検出です。
米	2016 年産米の検査は 26 産地 67 検体の検査を行いました。日本の稲作を守る会の栃木こしひかり(玄米)を検査したところ、2 件(3、9、4、1Bq/kg)の検出がありました。検出された産地の米は、白米で検査を行い不検出でした。米の検査は全産地終了しました。 ＊放射能はぬか部分に多く蓄積します。検出されました栃木こしひかりは、不検出が確認されました白米でのお届けとなります。
牛乳、肉、卵	産地ごとに定期的に検査し今年度放射能は検出されていません。
魚介類	魚介類で放射能は検出されていません。
乳幼児用食品	検出下限値 1Bq/kg で検査を行っておりますが、すべて不検出です。
その他加工食品	<お料理セット> 肉・豆腐などは定期的に検査を行っています。野菜のみを毎月検査を別途行っています。菌茸類については毎週検査を行っており、しいたけおよびしいたけ水煮(3、4～11Bq/kg)から自主基準内ですが検出しています。その他の菌茸類からの検出はありません。 <大豆加工品> 豆腐、納豆、味噌、醤油など大豆加工品は、2014年産および2015年産原料で検査を行っているものと、製品で検査をおこなっているものとがありますが、放射能は検出されていません。 <その他> 2016 年 11 月にサプリメントのブルーベリー & ルテイン(6、5 Bq/kg)から自主基準内で検出がありました。

パルシステムの放射能検査について

●独自ガイドライン(自主基準)と検出限界について

パルシステムでは食品の残留放射能について独自ガイドライン(自主基準)を設定しています。放射線にはこれ以下なら安全という「しきい値」がないので、基準以下であっても、放射能低減を追求します。検査の結果、自主基準を超えるものについては供給いたしません。また、独自ガイドラインは継続的に見直しを行ないます。

自主基準(独自ガイドライン)(セシウム 134,137 の合計)			国の規格基準
2014 年 10 月より現行基準	現	旧	
水、飲料、牛乳、乳製品、米、乳幼児用食品	10	10	水、飲料茶 10 乳児用食品、牛乳 50
青果類(きのこ類除く)、肉類、卵、魚介類、その他食品、きのこ類(しいたけ除く)	25	50 100	一般食品 100
しいたけ	100		

＊乾燥食品は生原料や摂取状態で検査します。(単位 Bq/kg)
乳幼児用食品は「yumyum」掲載商品とインターネットの赤ちゃん推奨商品。

検出限界(セシウム 134,137 それぞれ)		
2016 年 4 月 1 日から新基準に変更	新	旧
乳幼児用食品	1	3
水、飲料、牛乳、乳製品、米、青果類、肉類、卵、魚介類、その他食品	3	

●放射能検査の対象範囲について

農畜産物とその加工品	北海道を除く東日本産(新潟・長野・静岡以东の本州産)
水産物とその加工品	日本沿岸・近海・一部の北太平洋・淡水産水産物